

## 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

社会科教育専修 小南舞桜  
(檀原市立白檀小学校を想定)

### 1 単元名

『NEW』白檀ニュータウン～住み続けられるまちづくりを考えよう

### 2 単元の目標

- 白檀小学校の校歌から白檀ニュータウンの歴史や自然環境について知り、解説された文章やグラフを読んだり話を聞いたりすることを通して、白檀ニュータウンの歴史や自然環境について理解することができる。(知識及び技能)
- 白檀ニュータウンの歴史について調べ、白檀ニュータウンの現状を多角的に捉え、白檀ニュータウンの未来について考えたことを適切に表現することができる。(思考力・判断力・表現力)
- 白檀ニュータウンの歴史やまちづくりに関心を持ち、意欲的に学習に取り組むとともに、自分たちの地域を大切にする気持ちや、白檀ニュータウンに住み続けられるまちにするための態度、実践力を持つことができる。(学びに向かう力、人間性等)

### 3 単元について

#### ○ 教材観

白檀ニュータウンは、昭和42年から団地開発が始まり、人口は減少が進む現在でも檀原市で一位である。一方で、高齢化率が高く、今後も人口減少が進むと推定されている。

白檀小学校は令和6年3月末をもって閉校された檀原市立白檀北小学校、白檀南小学校と統合され、令和6年4月1日から新たな一歩を踏み出した。その際、校歌の歌詞に入れたいフレーズを白檀北・南小学校の児童、白檀中学校区の住民から募集し、参考資料として使用された。また、歌詞を県内在住、若しくは県外在住の白檀中学校区出身の人から募集された。作曲は奈良教育大学学長の宮下俊也氏が手掛けた。新しい校歌では「高取川」「益田の池」「貝吹山」「畝傍の山」と白檀の自然環境がとりあげられている。また「わが故郷の歴史をつなぐ」「語ろう未来を」といった過去と未来についてもとりあげられている。

#### ○ 児童観

児童は白檀小学校の統合後、新しい校歌にも親しみを持つようになってきている。一方で、新しい校歌に対する理解が低く、今まで5年間歌い続けてきた白檀北小学校・白檀南小学校の校歌から変更になったことへの戸惑いも見られる。新しい校歌の制作過程やかかわった人々の願いについてとりあげ、新しい校歌への親しみをより深めたり、地域への愛着を高めたりできるようにしたい。

児童たちは第3学年の社会科の学習において、身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設、交通の様子などを学習している。一方で、白檀ニュータウンの歴史や人口減少について

児童の関心は低く、将来の人口の推移を示すグラフや、現在の年齢別人口比率のグラフを示すことで児童にこれからの白樫ニュータウンへの危機感をもたせ、住み続けられるまちづくりに対する関心や興味を高められるように展開したい。

#### ○ 指導観

この単元の指導あたって、まず、白樫北小学校・白樫南小学校の統合にあたって新たに作られた校歌を取り上げ、歌詞が地域住民からの公募で作られたことを児童に示し公募された歌詞をみて感じたことを共有させたい。また、校歌の歌詞から白樫ニュータウンや歴史について興味を持たせたい。そして、校歌の作曲者である宮下氏に話を聞き、地域内外の様々な人々が児童自身や地域のことを考えていることに気付かせたい。

次に単元の間ではグループになって興味のある事柄について白樫ニュータウンについて調べさせたい。そこで白樫ニュータウンの人口が減り続けている現状に気付かせ、なぜ減り続けるのかについて考えさせたい。

単元の最後には学習を通して気づいた課題に対して、自分たちにできることは何かを考えさせ、行動化を促せるようにしたい。その際、どうすれば白樫ニュータウンを住み続けられるまちにできるかを考え、主体的に行動できることを目標とする。

## 4 ESD との関連

### ・学習を通して主に養いたい ESD の視点

#### 【公平性】

高齢者と児童の双方が住みよいまちづくりを考えることができる。

#### 【有限性】

今ある施設を利用するだけでなく、次の世代も利用できるように考えることができる。

#### 【連携性】

地域内の人とも、地域外の人とも協力することができる。

### ・学習を通して主に養いたい ESD の資質・能力

#### 【多面的・総合的に考える力】

様々な人々がかかわって白樫ニュータウンのまちづくりが行われていることに気付くことができる。

#### 【未来を予測して計画を立てる力】

少子高齢化が進めばニュータウンからひとがいなくなると予測し、住み続けられるまちづくりのために自分ができることを考えることができる。

### ・学習を通して主に養いたい ESD の価値観

#### 【世代間の公正】

まちを守り続ける責任がそこに住む私たちにはある。

### ・SDGs との関連

目標 8 経済成長と雇用

目標 9 インフラ

目標 11 まちづくり

## 5 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
① 白檀小学校の校歌から白檀ニュータウンの歴史や自然環境に気付いている。 ② 白檀ニュータウンについて調べたりまとめたりしている。 ③ 解説された文章やグラフを読んだり、話を聞いたりすることを通して、白檀ニュータウンの歴史や自然環境について理解している。	① 白檀ニュータウンについて調べたことを基に、考えたことを適切に表現している。 ② 白檀ニュータウンを住み続けられるまちにするために、必要な努力や工夫を自分なりに考え、適切に表現している。	① 白檀ニュータウンの歴史やまちづくりに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 白檀ニュータウンの未来に関心を持ち、地域を大切にしようとしている。 ③ 白檀ニュータウンを住み続けられるまちにするために自分にできることを考え、主体的に活動しようとしている。

## 6 単元計画 (全 13 時間)

段階	主な学習活動	学習への支援	評価・備考
知る (2 時)	○白檀小学校の新しい校歌について考えよう ・校歌の歌詞を見て、気付いたことを話し合う。 ・校歌の歌詞が地域住民から公募されたことを知る。 ・公募された歌詞を見て、感じたことを共有する。 ・白檀小学校の校歌を作曲した宮下氏からのメッセージ動画を見る。	・児童がすでに校歌について知っていることを聞く。 ・白檀北小学校・白檀南小学校の歌詞について知っていることを聞く。 ・公募で集まった歌詞にこもった住民の願いや、作曲に当たった宮下氏の願いを考えさせる。	ア①
白檀ニュータウンはどのようなまちなのだろう？			
調べる (3 時)	○白檀ニュータウンの歴史や自然環境を調べよう ・白檀北・南小学校の歴史、自然環境、檀原市の移り変わりなど、グループごとに調べる。	・興味を持った題材をグループごとに一つ選ばせる。 ・第3学年で行った地域学習を振り返らせる。	・ア②③ ・ウ①

<p>まとめる (3時)</p>	<p>○白樫ニュータウンを調べて分かったことを発表しよう</p>	<p>・スライドを用いてまとめ、発表させる。</p>	<p>・ア③ ・イ①</p>
<p>白樫ニュータウンは今後どうなるのだろうか？</p>			
<p>ひろげる (5時)</p>	<p>○白樫ニュータウンの未来を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に白樫ニュータウンの未来についてインタビューをする。</li> <li>・白樫ニュータウンがどのようになってほしいか考える。</li> </ul> <p>○住み続けられるまちづくりのために何ができるか考えよう。</p> <p>【他者に発信】(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人の人と交流をする。</li> <li>・児童センターに絵を飾る。</li> <li>・夏祭りの花火で人を呼び込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、学校でお世話になっている人などにインタビューさせる。</li> <li>・質問内容を事前に決めさせておく。</li> <li>・まず個人で考えさせ、グループで共有し、学級全体に向けて発表しあう。</li> </ul>	<p>・ア①② ・イ① ・ウ②</p> <p>・イ② ・ウ③</p>